

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

# ハロー フレンズ

ファイセック

# FICEC

発行

ふじみの国際交流センター  
Fujimino International Cultural Exchange Center

2012年 2月号 (隔月刊) 第118号

参加体験型地域力アップ事業

America を知ろう。地域から世界へGO!

東上世界村へようこそ

Chapter 1

東上世界村の取り組みは、NPO法人東上まちづくりフォーラムとふじみの国際交流センターとの共催事業です。11月27日(日) 志木のふれあいプラザで、第1回目の集まりが開催されました。ふじみの国際交流センターからは、ティムとシンディーが参加してくれました。



参加者はなんと65名! 20代から60代にわたる幅広い年齢層の男女が参加してくれました。中には、乳母車を引いて参加した若い夫婦もいました。最初は英語だけで進める企画でしたが、参加者が集まるかどうか心配で、日本語と英語での企画に変更しました。しかし、こんなにたくさんの参加者があったなんて! 人々のアメリカや英語に対する関心の強さに、改めて驚かされました。

<前ページより続く>

## 最初にアメリカ、 日本からのあいさつ

挨拶では、東上まちづくりフォーラムの清水さんが、この企画の説明とともに、4月から東上世界村を誕生させるための、最初のステップだという話をしました。

続いて、英語学校を運営している ジム・ワインブレナーさんの話。20年以上の滞在経験から、日本のことアメリカのことを話されました。戦後65年以上 良い面も悪い面もアメリカの影響をたくさん受けてきた私たちですが、他国と比較することが本当にいいことかどうかを、アメリカの悪い面や、日本の良い面もあることを話されました。また、自分の子どもを日本の学校に通わせた経験から、意味のない記憶は学習ではない、教える内容が多すぎる等の話もありました。

話の最後に、先日亡くなったスティーブ・ジョブス氏のスタンフォード大学での卒業式祝辞が日本語の字幕入りで、流されました。

次に立教大学の院生が、自身のカナダ留学の経験から、文化の違いや生活の違いの紹介を話されました。

最後に志木市の学校に勤めるアメリカ人の英語教師が、日本に住み働く中で感じた、子どもたちや先生達のこと、学校教育のこと、日本での生活のことについて、二人の掛け合い方式で話されました。二人の話術に引き込まれるような楽しい話でした。

## グループに分かれて 英語、日本語での会話

話の後は、三つのグループに分かれてのおしゃべりタイムになりました。日本語で話したい人たちは、ジムさんの周りに、(さすがに年配者が多かったように思います。)英語で話したい人たちは、若いアメリカ人の周りにそれぞれが集まり、自由な話し合いが始まりました。

私が聞いていたグループでは、英語教師の二人の話し方がとても上手で、楽しかったため、アメリカの学校では話し合いの授業があるのかとか、日本人の英語は分かりづらいといわれるがどう思うかなどの質問が出されていました。二人の英語教師は、みんなが自分達の英語を分かってくれて、楽しくおしゃべりが出来たととても喜んでいました。

## 「グローバルコミュニケーション」も開催

また、グローバルコミュニケーション Vol.2 が2012年1月22日(日) 1pm~4pm にいざほっとぷらざで行われました。前回に続きジム・ワインブレナーさんのお話「心の豊かさを求めて」の講演、英・米・仏・露各国の方々には日本での生活、仕事や日本人との日々の交流を通じて知ったお国事情、習慣、人々の考え方についてお話をいただきました。1回目は「欧米の人達と友達になろう」というテーマで開きました。震災以降地域に欧米の人達を見かけなくなりましたが、日本人と結婚していたりALT(外国語指導助手)として働いている人達の協力を得ることができました。外国に興味を持っている小・中・高の若い学生たちの参加もあり未来を荷う若者達を逞しく感じました。(山畑)

### 次回のご案内

日時：2012年3月18日(日)

13:00~16:00

場所：朝霞コミュニティセンター

内容：アジアの人々と親しくなろう！  
参加をお待ちしております。

問い合わせ：ふじみの国際交流センター

担当：山畑

電話：049-256-4290

# Let's enjoy 国際交流

## 第3回 楽しい公園をきれいに

11月23日にふじみ野市西ノ原中央公園で植樹と除草を行いました。この公園は大型遊具がたくさんあり、一年を通じて子供たちが集まり、春には桜が咲き市民の憩いの場となっています。今回埼玉県みどり再生課提供のつつじの苗木60本を、外国人13名、日本人24名で植樹しました。作業後はサモサとスープをいただき交流。これから、つつじの成長を見守りたいと思います。(酒井有香)

### 外国人の感想

このようなイベントに参加するのは初めてでしたが、とても楽しく過ごすことが出来ました。当日はとても天気が良く、公園を掃除し、つつじの苗を植える経験が出来て嬉しかったです。皆で協力し合ったので、60本の苗を植えるのはそれほど大変ではなかったです。今回は公園の一部しか苗を植えたり、雑草を抜いたり、枯葉を掃除することができませんでしたが、次回は公園全部をやりたいと思いました。いつでも美しくきれいな公園を見られるのは良いことだと思います。ぜひ私たちが植えた苗が、すくすくと育つを見たいと思います。知らない外国人や日本人と話すことが出来、友達になれて、すばらしい時を過ごせました。サモサと暖かいリボンスープがとても美味しかったです。(吉井ジュリエッタ)



## 第4回川越七福神スタンプラリー

「晴れてよかった！」川越市駅に集まった参加者一同のほっとした声。日本人と外国籍市民との“一緒に地域づくりレッツ エンジョイ国際交流”の最終章となる四回目は、新年気分が残る一月七日「川越七福神めぐり」でスタートしました。参加者は二十三名。巡りの第一番のお寺は妙昌寺。

「お寺ではどうして鈴を鳴らすの？」さまざまな国の方が参加しています。一瞬詰まった顔の日本人に横で救いの声。「鈴には悪魔を追い払う力が有るので、鈴を鳴らしてからお賽銭を入れるのよ」九時のスタートでゆったりした一万二千歩強の五時間は、趣を変えて日本を味わうには最高のイベントになったようです。(岩田仁)

### 外国人の感想

あけましておめでとうございます。

1月7日、ふじみの国際交流センター主催の「川越七福神めぐりツアー」に参加させて頂きました。寒い中、朝9時に川越市駅前に約20名が集まりました。一人だと途中で挫折してしまいそうになりますが、様々なお願いごとをしたい人達とおしゃべりしながら楽しく周ることができました。途中の菓子屋横丁では、銀杏の実で作ったかわいい細工を目にしました。中国の人たちの中で、殻で作ったものか、中に果肉が入っているのか議論になりました。日本語は難しいですね。

普段観光客で賑わう川越と違い、新たな川越を再発見できました。(柳安奈)



### 憂鬱なクリスマス

藤林 美穂

クリスマス連休前の22日、携帯に知らないフィリピン人女性から電話がかかってきました。その人は、フィリピンに子どもが2人いて、今在マニラ日本大使館に子どもたちが日本に来るための短期ビザの申請を出しているが、23日の昼にビザが出るかどうかかわかるので、もしビザが無事に下りたら24日に自分で子どもたちをフィリピンに迎えに行き、25日に日本と一緒に戻ってくる計画だ、というのです(仕事の休みがこの連休しかとれない由)。日本に連れてきたらビザを「定住者」に変更したいがどうしたらいいか、とのこと。すごい強行軍スケジュールだし、あまりに唐突な話なので、子どもたちに本当にビザがおりたらもう一回電話してほしい、と伝えましたが、その後音沙汰がありません(フィリピンの人にとって日本に来るための短期ビザをとるのは結構大変なので、おそらくビザがおりなかったのだと思います)。

毎年クリスマス前になると、師走でただでさえばたばたしているのに、突然焦りまくった外国人(主にフィリピン人)から「すごく急いで～したい」という依頼電話がかかってきます(この～の部分にはいろいろな用件が入ります。「急いで母国にいる子どもを日本に呼び寄せたい」「急いで母国にいる新しい彼氏と結婚して日本に呼び寄せたい」云々)。

私の商売は外国人がお客さんですから、だんだん電話がかかってくるのはありがたいことです。しかしこの時期のお客さんは仕事として実際に受任できるの

かどうかあいまいな人が多く、たんに師走の慌ただしさが増えるだけ、ということも少なくありません。

なんでこんなことになるのか、と考えると、こうした電話がかかってくるのは12月初めから20日前後にかけてのクリスマス直前の時期。キリスト教徒にとっては、クリスマスは家族がそろって過ごす祝日です。ふだんは日本で暮らしていても、お財布が許せばクリスマスくらいは母国に帰り、家族とともに過ごしたい、というのが一般的な感覚なのではないかと思います。いろいろな事情で家族と離れて日本で暮らしている外国人にとって、同国の友人が次々に母国に里帰りする、あるいはすでに呼び寄せた子どもたちと一緒に過ごす中、寂しさが募って直前まで計画もしていなかった「子の呼び寄せ」「彼氏の呼び寄せ」の実行を突然思いつき、前に友人からチラシをもらっていた行政書士に電話をする、ということなのではないかと想像しているのです。ちょっとせつないお話ですが、でもせめて三か月くらい前から計画して相談してくれればいいのに…。

#### 筆者紹介

行政書士(ライフ行政書士事務所)。NGOで働いたり、フィリピン人支援団体でボランティアしたりした後、行政書士開業。毎日いろいろな国から来たいろいろな人の話を聞いて、「在日外国人」の多様性に、びっくりすることの連続です。

どんな方でもボランティアが可能です

新井 順子

ふじみの国際交流センターのボランティア活動にかかわって2年半になりました。好奇心が旺盛なので、広く浅くセンターのいろいろな活動に携わらせていただいています。一番多い活動は、外国籍の方をお願いされる出生証明書などの翻訳です。翻訳をやり始めたころは、法律用語が解らなくて、短い文章でも日本語や英語に翻訳するのに四苦八苦していました。また生活相談担当スタッフの人手が足りない時は、呼ばれるままに担当スタッフのお手伝いもしています。生活相談にかかわればかかわる程、センターに相談に来る外国籍の方の問題が千差万別で、簡単に答えられないことがわかりました。心理学の知識や、行政や法律の知識も必要だと実感させられました。

日本語教室と国際子どもクラブで日本語を教えることにも参加しています。これらの教室には、様々なバックグラウンドを持った外国籍の大人の方と、子供たちが日本語や学校の勉強を学びに来ています。

教えることによって、逆に私自身が日本語や日本について深く勉強させてもらっています。教室での楽しみは、休憩時間に生徒さんからお国の事情を直接聞けることです。国によって風俗習慣が違うことがわかっておもしろいです。

Q1. ボランティア活動のきっかけは？

A. 民間企業でしか働いた経験がなかったので、NPO がどのように機能しているのに興味があったのでFICEC の活動に参加しようと思いました。また、FICEC が外国人とかかわれる団体であることもきっかけになりました。

Q2. 新しくボランティア活動を試みようと考えている方に一言お願いします。

A. 専門知識が必要のように書きましたが、センターの活動は多岐に渡っています。どんな方でも力になれると思いますので、ぜひ一度センターに見学に来てください。活動に参加して行くうちにきっと自分の知らない能力を発見出来ると思います。

見送りの三振より  
空振りの三振

パート

石井 ナナエ

初詣から帰って、届いたばかりの年賀状を1枚1枚ゆっくり読むのが40年来の私の元旦の過ごし方となっている。3.11という不幸な出来事の影響で、今年はさすがに『新年あけましておめでとう』で始まる賀状は少ない。その代りに『絆』とか『今年こそ希望の持てる年になりますように』という願いを込めた手紙が目立つ。

『生き方や社会の在り方について考えた』とか『社会にお返ししなければ』とか『明日のために今日から』といったフムフムうなずける年賀状は同級生達からのもの。

私の年頭の誓いは、相田みつをさんの詩にある『生きているうち、はたらけるうち、日の暮れぬうち』に決めた。被災地を見舞う勇気もなく、復興支援にいく体力にも自信がな

かった自分。悩んで落ち込んだ長い時間を経て得た答えは、『自分にできることをできる所で続けていこう』だった。

悲しいかな美貌には恵まれなかったが、私にはたくさんの友人・知人・引き立ててくれる恩人や仲間がいる。年賀状の大半が体を思いやってくれるものだったり、娘からお年玉が贈られて来たりすると、『自分では元気なつもりだけれど、周りから見ると要介護老人になったのかしら』と心細くもなるが、初心を貫いて、外国人の自立支援を続けていきたい。

1月4日から24年のセンターの活動が始まる。「よし、がんばるぞ」思わず叫んだ私の声に、ゲームに熱中していた孫たちが、びっくりして振り向いた。

### NPO 体験事業（インターンシップ）に参加して

11月の3日間にNPOインターンシップで「ふじみの国際交流センター」のスタッフの方々にお世話になりました。内容はセンターで発行する月刊誌の編集会議とスタッフ会議への参加、フィリピンの少年への日本語指導（ひらがな、カタカナの読み方）、ふじみ野市の公園での外国人を交えた除草とつつじの植樹への参加でした。

今迄NPO活動という名は聞いていましたが実際のNPO活動の一部の体験ができセンターのスタッフの連携により支援・交流活動が企画・実施されていることが理解できました。富士見市・ふじみ野市及び三芳町とその近郊に在住する外国人からの相談を受けての支援、数ヶ国の人への日本語教育が行われ、私は日本へ来たばかりのフィリピンの18才の少年への日本語教育（ひらがな、カタカナの文章の読み方、時計の読み方等）を担当しました。彼の日本語を理解しようとする意欲が強く感じられ単語、文章が理解しにくい点を英語で説明し理解してくれやりがいがありました。

特に日英辞書を手元に持参して努力している姿に感心しました。これらの外国人の自立支援への活動がスタッフの方々のご苦勞と努力によることに感動させられました。（さいたま市 石川正彦さん）

連合埼玉と埼玉労福協は共生の地域社会づくりへの参加を目的とした「ネットワークSAITAMA21運動」を実施しています。センターは今回その1つNPO体験プログラム「インターンシップ体験事業」に協力し、インターン生を受入ました。

インターン生はさいたま市在住の石川正彦さんです。現在70才、大変元気な方です。会社のコンサルタントも続けながら、これからはご自身の経験を生かせる国際交流・環境改善などに参加するとともに新しい仲間との交流をしていきたいと抱負を語ってくださいました。センターでの体験が少しでもお役に立てれば幸いです。（荒田光男）

#### 月に2回の訪問者

編集会議やスタッフ会議開催の日に、ハンディを持つ方々が重いパンケースをいくつも持って販売にきてくれます。コロケパン、メロンパン、ゴマアンパンなど、どれもおいしくスタッフは自分の昼食用だけでなく自宅へのお土産として購入しています。

協働舎レタスは障害者と共に生きる街づくりを目指し、ハンディを持つ人々も町の中で生き生き暮らそう！共に働こう！という理念をかけた、1999年4月に誕生した地域活動支援センターです。レタスは20人のハンディを持った方々が通所し、食品（菓子・パン）作り、販売に積極的に取り組んでいます。国際交流センターさんには、毎週第1・3火曜日のお昼に販売しています。その他には、毎週

火曜日12:00からふじみ野総合福祉センター大井支所。毎週水曜日11:30からフクトピア。12:00からふじみ野市役所で販売しています。焼きたてのパンをお届けしています。ぜひ一度ご賞味下さい。（協働舎レタス）



## 活動報告

12/5 携帯通訳者研修会 6・27 情報誌編集会議・スタッフ会議 9 ふじみ野市元福小学校国際理解講座  
 8・22 パソコン教室 17 富士見市民大学公開講演会「地域で支えあう多文化社会」木（毎週）日本語  
 教室・22 そば打ち体験 金（毎週）中国語教室 土（毎週）こどもクラブ・24 クリスマス会  
 2012/1/7 外国人地域レビュー第4回「川越七福神スタンプラリー」10 情報誌編集会議・スタッフ会議 14  
 理事会 14 新年会 21 鶴ヶ丘小学校国際理解講座 21 DVボランティア育成講座1回目 22 東上まちづく  
 りフォーラム「日本の魅力再発見・外国の文化に触れてみよう」12・26 パソコン教室 月（毎週）英語教室  
 木（毎週）日本語教室 金（毎週）中国語教室 土（毎週）こどもクラブ

## インフォメーションふじみの

外国籍市民のための生活情報誌を毎月7ヶ国語（中国語・英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・  
 タガログ語・日本語）に翻訳して発行しています。12号&1月号の日本語版をお届けします。

## 生活相談通訳者が常駐します

年間700件にも及ぶ相談がセンターに寄せられていますが、今まで常駐する母国語を話せる通訳者がい  
 ませんでした。そこで、常に母国語と日本語で相談できるスタッフを準備するシステムを作りました。曜日によ  
 って言語が違いますが、決められた日に母国語で相談できるとあり生活相談が飛躍的に理解が早く進む  
 ものと期待されています。通訳者の常駐は次の通りです。

母国語が可能なスタッフが常駐する曜日と時間 月曜～金曜日 13時～16時

母国語が可能な常駐するスタッフの言語

月曜日（ポルトガル語） 火曜日（タガログ語・英語） 水曜日（中国語）

木曜日（中国語） 金曜日（タガログ語・英語）

## 学習書籍の寄附をいただきました

こどもクラブのボランティアの方より、学習書籍を寄附していただきました。「日本昔話」など絵本20冊、  
 「漫画で読む日本の歴史全23冊」「マンガでわかる不思議科学12冊」「別冊不思議科学21冊」「ちびま  
 るちゃんシリーズ 四字熟語、敬語教室、ことわざなど」「マンガ人物館」など20冊。これらの漫画学習  
 本を併用して楽しく興味を持ち学んでもらえることを期待します。またおひとり2冊まで1週間の貸出をしま  
 せ。ぜひご利用ください。



## 生徒募集！ 弁天の森日本語サロン

日本語学習のサポートをしています。

1. ことば 習慣 日常生活に役立つ知識
2. 学習者の習得レベルに応じたテーマ別自由会話
3. サロンの雰囲気の中で学習者相互の親睦と相互学習をすすめます。

サロンで育った人材を各方面に活かしてもらいます。

日時：第1・3水曜日 AM10:00～PM12:30

場所：うれし野会館2F

責任者：新井節 049-262-4476

センターの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

**活動を担う会員.....正会員**

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

**センターを財政的に支える会員.....賛助会員**

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511  
 口座名：ふじみの国際交流センター

**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 センターをご紹介ください。

**ご寄付をいただいた方々**

ご支援ありがとうございます

2010年4月～（50音順・敬称略）

イオン(株)大井店、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院、東京電力労働組合埼玉支部、はんこ村ときわ店、東入間地区遊技業防犯協力会

阿澄康子、安部幸枝、新井順子、荒田光男、有山高司、石井ナナエ、伊藤真弓、岩田仁、上島直美、太田原裕、小野田久美子、小原知子、葛西敦子、梶加寿子、加藤久美子、金子忠弘、神田順子、小熊千寿子、木場ひろみ、駒形一夫、権田貴久子、鈴木譲二、武田和子、田口信一、寺村璧如、鳥居政子、内藤忍、中嶋恵津子、中村禎作、荻原千代子、長谷川雅恵、長谷川正江、浜本由里子、槇原麗子、森田信子、山畑博子



**サービス料金表**

ふじみの国際交流センターでは、センターの設備や、会員・スタッフの技能により、様々なサービスを行っております。ぜひ、ご利用ください。

種別	料金	対象
印刷機	マスター（製版代） 1枚100円 印刷代1枚1円	市民団体 個人
コピー機	1枚10円	
製本機	A4判1冊50円	
折り機	無料	

種別	内容	料金
講師派遣	国際理解教育	3,000円+交通費
	外国料理教室	5,000円（材料費別途）
	語学教室	内容・予算に応じて相談
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	
編集・出版 ホームページ	多言語による情報誌・ガイドブック、ホームページの制作	1枚5,000円
	日本語によるチラシデザイン（A4判）	
翻訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語	婚姻関係、ビザ申請、履歴書
	その他の文書	A4判1頁、40字・30行 1枚1,000円 A4判1頁、40字・20行 1枚3,000円より
通訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語	半日5,000円より+交通費

**特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター**

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10  
 うれし野まちづくり会館2階  
 Tel：049-256-4290 Fax：049-256-4291

**ボランティア活動に、ご参加ください**

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。